

## 編集後記

- 2017年3月、担任らの強い叱責で中2の男子生徒が自殺する事件が福井県で起こりました。調査委員会がまとめた報告書は、男子生徒に「発達障害の可能性があった」と指摘しています。「本調査委員会では、本生徒の発達障害の可能性を指摘すべきかどうか躊躇したが、学校の中には発達障害を疑われる子どもたちが多々おり、その特性が理解されず、多くの子が苦しんでいることを考え指摘をした」ともあります。特集1は、このような事件を防ぐ一助となればと考え、企画したものです。
- 授業参観・保護者会は保護者に「子どものいいところ」を伝える貴重な機会です。特集2では、「友達とのかかわりの様子を見せながら伝える」「発達段階を意識して伝える」「事前に見どころを伝える」などの具体的な工夫を紹介していただきました。(こ)

## 次号のお知らせ

### 特集1 スケーリング・クエスチョンが持つ力

解決志向ブリーフセラピーの技法は、学校でもさまざまな形で効果を発揮しています。なかでも学校で使いやすいスケーリング・クエスチョンについて、実践例を交えながら紹介します。

### 特集2 SCと子どもをつなぐために教師ができること

子どもたちがスクールカウンセラーについて知っておくことは、普段は相談室を訪れない子にもプラスになるのではないのでしょうか。子どもたちとSCを、教師としてどうつないでいくかを考えます。



# 学校教育相談

2018年 平成30年 6月号

定価 800円 (本体 741円)

2018年6月1日発行

●発行所

## ほんの森出版株式会社

〒145-0062

東京都大田区北千束3-16-11

電話 03-5754-3346

FAX 03-5918-8146

URL <http://www.honomori.co.jp>

●編集企画 学校教育相談研究所

●発行人 小林敏史

●印刷所 研友社印刷(株)

## ほんの森掲示板



- ・2015年4月号から2年間連載されていた、青木将幸先生の「学びと相互交流を促進する！ファシリテーション入門」を1冊にまとめる編集作業が進行しています。より学校の状況に即するため、新たに対談を組み入れ、今夏の発行をめざしています。
- ・現在、連載中のちよんせいこ先生の「教育相談ファシリテーターになるう！」もそうですが、ファシリテーションの考え方や手法は、学校教育に豊かな刺激を与えてくれるようです。

●本誌の2018年4月号からの1年間の誌代は12,080円(税込 増刊号2冊を含みます)。振替口座00140-4-768848 雑誌・書籍のご注文は、書店もしくは直接小社にどうぞ。本誌定期購読の場合は送料サービス。書籍・バックナンバーのご注文は1冊につき送料100円(3冊以上送料サービス)でお送りします。お支払いは送本時同封の郵便振替用紙で。



文書ファイル配布

ページ下にこのマークが入っている☆詳しくは奥付を！資料のファイル(一郎・ワード・パワポなど)を希望の方はホームページからご連絡ください。

ほんの森出版

検索